

## 2022年9月期 京都信用金庫の現況

### ■ 資産・負債等の状況

#### ●資産の部

(単位：億円)

	2021年9月末	2022年9月末	増 減	2022年3月末
現金・預け金	10,292	<b>7,765</b>	△ 2,527	10,133
有価証券	6,901	<b>6,483</b>	△ 417	6,714
貸出金	18,140	<b>18,326</b>	185	18,129
事業性貸出金	13,438	<b>13,518</b>	80	13,397
貸倒引当金	△ 145	<b>△ 179</b>	△ 34	△ 161
資産の部合計	35,923	<b>33,314</b>	△ 2,608	35,601

#### ●負債及び純資産の部

(単位：億円)

	2021年9月末	2022年9月末	増 減	2022年3月末
預金積金	29,521	<b>28,929</b>	△ 591	28,993
個人預金	21,014	<b>21,397</b>	382	21,248
負債の部合計	34,682	<b>32,284</b>	△ 2,397	34,469
純資産の部合計	1,240	<b>1,029</b>	△ 210	1,132
負債及び純資産の部合計	35,923	<b>33,314</b>	△ 2,608	35,601

### ■ 損益の状況

(単位：百万円)

	2021年9月期 (2021年4月1日～9月30日)	2022年9月期 (2022年4月1日～9月30日)	増 減
業務粗利益	15,004	<b>12,832</b>	△ 2,171
うち資金利益	14,587	<b>13,967</b>	△ 619
うち役務取引等利益	303	<b>242</b>	△ 60
うち債券関係損益	4	<b>△ 1,420</b>	△ 1,425
一般貸倒引当金繰入額	135	<b>444</b>	309
経 費	12,166	<b>11,992</b>	△ 173
業務純益	2,701	<b>395</b>	△ 2,306
実質業務純益	2,837	<b>840</b>	△ 1,997
臨時損益	△ 776	<b>1,001</b>	1,777
うち不良債権処理額	414	<b>1,762</b>	1,348
うち株式関係損益	9	<b>3,081</b>	3,072
経常利益	1,925	<b>1,397</b>	△ 528
当期純利益	1,333	<b>991</b>	△ 342

## ■ 貸出金の業種別残高及び構成比

(単位：億円)

	2021年9月末	構成比	2022年9月末	構成比
製造業	2,751	15.2%	2,767	15.1%
建設業	965	5.3%	992	5.4%
運輸業、郵便業	337	1.9%	344	1.9%
卸売業、小売業	2,445	13.5%	2,504	13.7%
不動産業	2,677	14.8%	2,624	14.3%
飲食業	639	3.5%	622	3.4%
医療、福祉	733	4.0%	746	4.1%
地方公共団体	1,079	5.9%	1,082	5.9%
個人	4,849	26.7%	4,945	27.0%
その他	1,661	9.2%	1,695	9.3%
合計	18,140	100.0%	18,326	100.0%

## ■ 有価証券の状況

### ● 有価証券の時価情報

(単位：億円)

	2021年9月末				2022年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	6,095	167	193	26	6,474	△ 131	103	235
国債	2,199	87	87	0	2,555	18	60	41
地方債	960	16	16	0	759	△ 3	5	8
社債	1,251	20	20	0	1,427	0	11	10
うち公社公団債	826	19	19	0	740	6	10	4
うち金融債	100	0	0	0	95	△ 0	0	0
株式	136	52	54	2	100	20	24	4
その他	1,547	△ 9	14	23	1,631	△ 168	1	170
満期保有目的の債券	856	51	51	-	-	-	-	-
うち国債	856	51	51	-	-	-	-	-
売買目的有価証券	-	-	-	-	0	-	-	-
子会社・関連会社株式	0	-	-	-	8	-	-	-

※評価差額は、9月末日の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価の差額を計上しています。

※時価は9月末日の市場価格等に基づいています。

## ■ 不良債権の状況

### ●信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況 (単位: 億円)

区分	2021年9月末	2022年9月末	増減	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	107	140	33	129
危険債権	666	632	△ 34	614
要管理債権	29	29	0	31
三月以上延滞債権	-	0	0	-
貸出条件緩和債権	29	28	△ 0	31
小計(A)	803	802	△ 0	776
保全額(B)	663	677	14	646
個別貸倒引当金(C)	109	136	27	122
一般貸倒引当金(D)	1	1	△ 0	1
担保・保証等(E)	552	539	△ 12	523
保全率(B)／(A)(%)	82.52%	84.39%	1.87%	83.35%
引当率((C)+(D)／((A)-(E)) (%)	43.96%	52.36%	8.40%	48.86%
正常債権(F)	17,370	17,557	186	17,387
総与信残高(A)+(F)	18,174	18,360	185	18,163

※引当率は今後一定期間中に発生が見込まれる予想損失額をベースとして算出したものです。

## ■ 自己資本の状況

### ●単体自己資本比率 (バーゼルⅢ国内基準) (単位: 億円)

	2021年9月末	2022年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	1,129	1,138
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	25	25
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	1,103	1,113
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	12,948	13,497
自己資本比率((ハ)／(ニ))	8.52%	8.24%

※自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準を採用しており、信用リスク・アセットの算出においては、標準的手法を採用しています。

※自己資本の状況の詳細については、「京都信用金庫の現況(自己資本の充実の状況等について)」にて開示しています。

- 本資料は、2022年9月期における当金庫の現況をお知らせするものです。
- 本資料に掲載している内容については、発表日において当金庫が認識している計数等を基に作成しています。また、会計監査人による監査は受けていません。
- 本資料では単位未満を切り捨てて表示しています(構成比については四捨五入しています)。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
- 本資料についてのお問い合わせ先: 京都信用金庫 経営企画部 TEL (075) 211-2111